
小田急ホテルセンチュリーサザンタワーの食材等の棚卸、消費期限管理に「Repotti」導入のお知らせ

株式会社インフォネット(東京都千代田区、代表取締役社長:岸本 誠、証券コード:4444)は、株式会社ホテル小田急サザンタワー(東京都渋谷区、代表取締役社長:小柳 淳)が運営する小田急ホテルセンチュリーサザンタワーの食材棚卸、消費期限管理に音声入力 AI レポーティングシステム「Repotti」を導入したことを、お知らせいたします。

■導入背景

小田急ホテルセンチュリーサザンタワーでは、調理・サービス担当の定期的な食材の棚卸や消費期限チェック、ならびに客室担当のリネンや備品類の棚卸を、紙に出力したリストを元にチェックし、そのあとパソコン上の管理用ファイルへデータ登録する作業を行っていました。

また、それとは別に、食材の消費期限のチェックを、サイボウズ株式会社が提供する業務改善プラットフォーム「kintone」を用いてタブレット経由で登録し、管理をしておりました。

今回の「Repotti」導入により、スタッフはスマホアプリを用いて、音声で食材の在庫数や消費期限のチェック記録を行えるようになるとともに、それらは管理システムへ自動的に登録されることから、倉庫や食材保管庫における紙でのチェックに係る作業負荷が大幅に軽減されるとともに、確認データをパソコンへ登録する“2度手間”がなくなり、棚卸業務に要する時間が大幅に短縮されることとなりました。

また音声での棚卸をストレスなく行うために、普段、スタッフ同士で使用している商品名(通称)で発話しても「Repotti」の学習機能で理解した「正確な商品名で登録」することを可能としたため、導入とその後の実運用の両面で、スタッフの作業ストレスを大幅に軽減することができました。

インフォネットでは、導入後も運用サポートも行っており、今後も AI 技術を用いて、小田急ホテルセンチュリーサザンタワーにおけるスタッフの業務負担を軽減することで、ホテルを利用されるお客様へのサービス向上につながるよう、サポートしてまいります。

なお、本件が業績に与える影響につきましては現段階で軽微なものと考えておりますが、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

■音声入力 AI レポートニングシステム「Repotti」について

「Repotti」は、ユーザーが音声や文章で入力したデータを AI が解析し、「分類・変換・登録」を行うプロセスオートメーションソリューションです。AI が適切に意味理解を行うため、入力された文章を項目ごとに分類し、決められた形にアウトプットすることができます。保育・医療・介護等の現場で「Repotti」を導入することにより、迅速な情報共有、残業時間軽減、入力業務削減に貢献してまいります。

▼「Repotti」についての詳細はこちら

<https://www.e-infonet.jp/products/repotti/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社インフォネット IR 担当

e-mail: investor_relations@e-infonet.jp